



ロバパンカップ 第54回全道(U-12) サッカー少年団大会 札幌地区予選

全道大会進出おめでとう!!

FC DENOVA 札幌藻南 FC SSS 札幌サッカー
クルーベアフット北海道U-12 レッド 上江別 Jr.
FC HKD.FC One Eight FC 北海道コンサドー
レ札幌 U-12

札幌地区代表を目指して各会場で熱戦が繰り広げられました。結果、上記8チームが全道大会に進出しました。全道大会は、北見モイワスポーツワールド球技場で開催。7月末に行われた全道大会でも、札幌代表チームの健闘が光りました。

7月3日(日) 石狩スポーツ広場 Aブロック

DENOVA	フォーザ	
6	2-0	0
	4-0	

気温 30° を超えた猛暑の中、フォーザのキックオフで試合開始。1分、DENOVA 10番が、味方からのパスが流れキーパーが捕球しようとしたボールを奪い先制点を取った。勢いに乗った DENOVA は、3分に10番がドリブルで持ち込んでシュート、5分には右サイドを駆けてスルーパスを受けた11番がシュートを打つが共に枠を外れる。

これに対して、フォーザも13分にファウルでフリーキックを得たが、難しいハーフバウンドを DENOVA のキーパーがナイスキャッチ、16分には DENOVA のコーナーキックをフォーザは守備から7番につなぎ、7番がカウンターを仕掛けるが DENOVA の固い守備に阻まれる。

きずな

17分、DENOVA 5番がゴール正面でパスを受けて2点目のゴールを決める。その後の時間帯は両チームが激しくぶつかり合う場面が続き、前半が終了。

後半も開始早々から DENOVA が攻撃を仕掛ける。2分にパスをつなぎ、DENOVA 5番がシュートを放つもクロスバー。4分に左サイドから17番とのコンビネーションで崩した DENOVA 6番のシュートもフォーザのキーパーががっちりキャッチ。そして5分、相手ゴールキックを高い位置で奪った DENOVA 17番のシュートが決まり3対0となる。

フォーザも7分に4番がゴール正面から思い切りの良いロングシュートを放つが、DENOVA キーパーがキャッチ。フォーザも負けじとチャンスは作るものの、なかなかシュートまで持ち込めず、一進一退の攻防が続く。

そして13分、DENOVA の相手陣内右側コーナー近くからのスローインを受けた17番がゴール前の6番へパスを通し4点目のゴールが決まる。15分には DENOVA 14番が相手DFのクリアボールをカットしシュートを決め、更にアディショナルタイムに DENOVA の右コーナーキックを2番が身体で押し込んで6点目を決める。そのままフォーザの追撃を許さずに6対0で試合が終了し、DENOVA が全道大会への出場権を勝ち取った。



7月3日(日) 石狩スポーツ広場 Bブロック

札幌藻南 FC	西園・福井野
3	1-1 2-0
	1

午前中から強い日差しが照りつける猛暑の中、15:00 札幌藻南 FC 対 西園・福井野のキックオフ。開始 2 分、札幌藻南 8 番がミドルシュートでゴールを狙うが、惜しくもゴール上を通過。7 分、中盤にいた西園・福井野 7 番から右斜め前のゴール前スペースで 9 番がパスを受ける。キーパーと 1 対 1 になるが、冷静なシュートで見事なゴールを決めた。

10 分、札幌藻南 5 番がシュートを試みるが、惜しくもクロスバーに当たる。18 分、札幌藻南 7 番から 8 番へのパスでシュートが決まり、1 対 1 の同点となる。前半戦は激しい攻防戦が繰り広げられる結果となった。

ハーフタイムを挟み、後半が始まる。開始直後 1 分、札幌藻南 6 番がキックオフのパスからまさかのロングシュート。見事ゴールが決まり、盛り上がる選手達。前半戦に続き激しい攻防が繰り広げられながらも札幌藻南の攻撃は続く。15 分、札幌藻南 12 番が西園・福井野のゴールキーパーの弾いたボールを押し込み、3 点目のゴールとなった。

西園・福井野は取り返そうと全力で食らい付くが、ここで試合終了のホイッスルが響き渡る。3 対 1 で、札幌藻南の全道大会出場が決まった。両チーム共猛暑の中、全力で駆け抜けた素晴らしい試合となった。



7月3日(日) SSS グランド Cブロック

SSS 札幌サッカースクール	清田緑
6	4-0 2-0
	0

前半 SSS 札幌のキックオフで試合開始。SSS 札幌はパスを回し、清田緑は相手の出方を見ながらの守備で、両チームともに慎重なゲームの入りを見せる。

1 分、SSS 札幌 11 番の縦パスを受けた 7 番がゴール右隅にゴールを決める。3 分、SSS 札幌 10 番のコーナーキックに 16 番がタイミング良くヘディングシュートをするが、清田緑のゴールキーパーはスーパーセーブでゴールを死守する。4 分、SSS 札幌は丁寧なビルドアップから 11 番が右サイドからクロスを上げる。そして、7 番が豪快なヘディングシュートで追加点を奪う。SSS 札幌 11 番は右サイドをドリブル突破し、ゴール前にクロスを上げるが、惜しくもボールは流れてしまう。8 分、SSS 札幌 8 番の右サイドからのクロスに 7 番が頭で合わせてゴールを決める。更に SSS 札幌の攻撃が続く。12 分 SSS 札幌 10 番が左サイドからクロスを入れ、23 番が右足を振り抜いてゴールを決める。前半は、SSS 札幌が両サイドをワイドに使った攻撃で得点を積み重ねる展開となった。

後半は清田緑のキックオフで試合開始。開始直後の 21 分、SSS 札幌 16 番からの中央を通したスルーパスに反応した 8 番がシュートを決める。その後も SSS 札幌の攻撃が続くものの、清田緑のゴールキーパーが見事なシュートストップを見せる。28 分、SSS 札幌 11 番が左サイドからドリブルで切り込み、ていねいなパスを送る。それを受けた 8 番がシュートしてゴールを決める。

後半は、清田緑がゴールキーパーを中心に粘り強く防戦したが、SSS 札幌は両サイドバックのオーバーラップを効果的に使った攻撃で人数を増やし繰り返してゴールに迫った。それが強く印象に残った決勝戦であった。



7月3日(日) SSS グランド Dブロック		
ベアフット北海道 U-12 レッド	新発寒	
13	8-0 5-1	1

代表決定戦は、無失点で順調に勝ち上がってきたベアフット北海道 U-12 レッドと、準決勝を延長の末勝ち上がってきた新発寒の試合となった。

開始からベアフットは両サイドを上手く使いサイドからゴール前へのボールをシュートする攻撃を何度も繰り返す。前半3分、左サイドの18番から、ゴール前にパスされたボールを18番がシュートし、先制。5分には右サイドの8番から中央の44番がワントラップし落ち着いてシュートで2点目。7分、左サイドの49番から中央にパス18番が決め、8分、左サイドの44番からのパスを再び18番が決め、10分、中央の18番から右へ流したボールを8番がワントラップして確実に決め、13分、8番からボールを受けた21番がドリブルで切り込みシュート、キーパーがセーブをしたがはじいたボールを8番が自分で決めて、6点差となった。

なかなか攻める事が出来なかった新発寒は15分、10番が中央のペナルティエリア付近からミドルシュートを打ったがゴールバーに当たり、クリアされ得点できず。その後もベアフットは攻撃を緩めず、11番が連続得点で8点目となった。前半終了直前、ペナルティエリア付近の左サイドで、フリーキックを得た新発寒の9番が直接ゴールを狙ったが、惜しくもゴールバーの上を通過し前半終了。

後半も、ベアフットの攻めは続き、1分、9番のシュートをキーパーがはじいたボールを16番がゴール。3分、47番が中央で相手からボールを奪いドリブルで切り込みシュートで10点目。

新発寒も、懸命に守りながら諦めずに攻めて、4分、10番が中央からのシュート、7分、9番のドリブルシュート、9分、右サイドから10番のシュートと、何度かゴール前まで行きシュートを放つが得点にはならなかった。それでも新発寒は攻め続け、とうとう18分、スローインから10番へ、そして中央へパス、9番が落ち着いて左すみにシュート、これがゴールとなり待望の1点を奪った。その後、ベアフット

が追加点を奪い、試合終了。

細かく丁寧に繋ぎ攻め込むベアフットの攻撃に苦しみながら、最後まで頑張り切った新発寒だったが、結果は13対1で、ベアフット北海道 U-12 レッドの勝利となった。



7月3日(日) 江別美原サッカー場 Eブロック		
上江別 Jr.FC	月寒	
3	2-0 1-1	1

晴天の江別美原サッカー場で Eブロック決勝戦がキックオフされた。開始早々、月寒のチャンスが訪れる。月寒7番の右センターリングに9番が合わせるも、ゴール右に外れた。

前半2分、上江別4番の遠目からのシュートはゴールバーに当たり得点にはならなかったが、ここから上江別は怒涛の攻撃を展開した。前半4分、コーナーキックから上江別16番が合わせるも月寒ゴールキーパーがセーブ。前半5分、上江別5番のドリブル突破から10番につないでシュートするも左に外れる。前半7分、中央でスローインを受けた上江別4番が遠目のシュートもゴール右に外れる。そして、迎えた前半8分、均衡が破れる。中央ドリブル突破した上江別4番のスルーパスを裏に抜けた10番がゴールキーパーも交わしてゴールを奪う。続いて前半9分、中央でパスカットした10番がそのままドリブル突破。ゴールキーパーとの1対1から冷静にゴール左隅に流し込みゴールイン。

飲水後も上江別の勢いは止まらない。前半14分、15分と、立て続けに3番がシュートするも、ここは

月寒ゴールキーパーに阻まれる。前半 17 分、上江別 11 番からのパスを 10 番が受けると相手に倒された。直接フリーキックを上江別 10 番がゴールをねらうも壁に阻まれる。前半は、2 対 0 で上江別がリード。

後半は、月寒ペースで展開される。6 分、右サイドを突破した月寒 11 番がセンターリングするも、上江別ゴールキーパーにはじかれる。7 分、9 番のフリーキックも上江別の堅いディフェンスに跳ね返される。迎えた後半 9 分、中央でパスカットした月寒 10 番がそのままドリブル突破し、ゴールキーパーを交わして倒れそうになるがゴールに押し込んだ。2 対 1 となり月寒の追い上げムードになったが、ここで上江別の逆襲が始まった。

後半 13 分、上江別の右コーナーキックを月寒のゴールキーパーがはじくが、そのこぼれ球を上江別 10 番がダイレクトでシュート、ゴール右隅に突き刺さりリードを広げる。この後一進一退の攻防を繰り返すも、上江別が逃げ切り試合終了。

3 対 1 で上江別 が勝利した。



7月3日(日)駒丘人口芝サッカー場 Fブロック

札幌ジュニアFC		HKD. FC
1	1-1 0-1	2

札幌ジュニアのキックオフで試合開始。後ろに戻されたボールを札幌ジュニアのセンターバック 2 番が相手ゴールめがけてのロングキックから始まった。

立ち上がり札幌ジュニアが相手ゴールに向かってロングパスで積極的に迫るが、その攻撃に耐えて HKD.FC のディフェンスから前線へロングキックで出されたボールはハーフラインを超え HKD.FC 56 番につながる。56 番は相手ディフェンスをドリブルでかわしてシュートする。このボールが札幌ジュニアのディフェンダーに当たって最初のコーナーキックを HKD.FC が得る。コーナーキックはゴール前に正確に蹴られ、ゴールキーパーの頭上を越え HKD.FC 60 番がヘッドで決め、先取点を奪った。

札幌ジュニアはその後も前線に走りこむ選手を狙ってロングキックを繰り返す。何度も相手ゴールに迫り続けコーナーキックも幾度か得るが得点することができない。それに対して前半 6 分 HKD.FC は正確に両サイドの選手からフォワードに球をつなぎペナルティーエリア外からのフリーキックで追加点を狙うが、ボールは惜しくもゴールをそれてしまう。前半 7 分、札幌ジュニアは、左サイドから右サイドへ流れるようにパスをつなぎ右サイドの選手はペナルティーエリアに侵入、そしてゴール前に折り返し味方の選手がシュートする。ボールはおしくもゴールバーに当たり跳ね返ったこぼれ球を次の選手がシュートしたが、HKD.FC ゴールキーパーがナイスセーブ。両チームとも正確にパスをつなぎロングキックで前に挽回しようとするが、両チームのディフェンス陣は体を張って相手の侵入を防いだ。

前半 16 分、札幌ジュニア 12 番は後ろからのロングボールがはねた後のボールを巧みなタッチで拾い、ペナルティーエリアに侵入、飛び出してきた HKD.FC のゴールキーパーに倒され PK を取る。札幌ジュニア 10 番がペナルティキックをゴール左に決め、1 対 1 で前半が終わる。

後半、ジュニア 8 番は、後方からのロングボールを落ち際に相手ディフェンダーと激しく競り合うが、次のジュニアの選手にはすでに HKD.FC のマークがつき、うまくつなぐことができない。給水タイムを取り残り 10 分

HKD.FC 59 番がセンターエリア付近でボールを受け取り果敢にドリブルし1対1でマークしていた相手ディフェンダーを抜き華麗なシュートでゴールを決める。これで2対1となる。

17分札幌ジュニア8番はゴール前で跳ねたボールをヘディングでゴールキーパーの頭上を越えてあわやゴールインの寸前でカバーに走りこんだHKD.FC選手にクリアされ札幌ジュニアは追いつくことができなかった。前半で先行したHKD.FCは、終始冷静な試合運びで勝利することになった。



7月3日(日) SSS グランド Gブロック

One Eight FC	真栄	
3	2-1	1
	1-0	

試合開始、2分。真栄11番はゴールキーパーのクリアミス拾い無人のゴールへ流し込み、先取点を奪う。さらに真栄は立て続けにシュートチャンスを得るが、追加点を奪うことはできなかった。

そして、One Eight FCが反撃、立て続けにシュートをするも枠をとらえることができなかった。その後はOne Eight FCは再三左サイドから攻め続け、真栄は引き気味の守備からカウンターをねらう展開が続いた。

そんな中で14分、One Eight FC10番のコーナーキックを11番が頭でコースを変えサイドネットに入れてゴールイン。ついに1対1の同点となった。

17分には、One Eight FC7番はフリーキックでゴールを直接ねらうが枠の外へ。19分には、真栄19番のシュートも惜しくも枠外。続けて19分、One

Eight FC11番が またも相手ゴールキーパーのキャッチミスを見逃さずこぼれたボールを無人のゴールに流し込み、前半は2対1でOne Eight FCのリードでハーフタイムになった。

後半はOne Eight FCの攻勢から始まったが、真栄も負けじと得意のスループスを通して反撃する。29分、真栄11番が単独ドリブルしたが相手のファールで止められ、その後の直接フリーキックも相手にクリアされた。

30分、One Eight FCは、11番のスループスを9番がゴールキーパーをかわしてゴールイン。ここで3対1と真栄を突き放した。

36分、真栄12番がシュートするもディフェンスにクリアされる。今度は5番のコーナーキックを11番がヘディングでゴールを狙うが、惜しくも枠外。その後も真栄はあきらめずに攻め続けたが、惜しくもタイムアップ。One Eight FCが勝利をつかんだ。



7月3日(日) 江別美原サッカー場 Hブロック

B TOP 平岡南 FC	北海道コンサドーレ 札幌 U-12	
1	1-5	8
	0-3	

開始早々。B TOP 平岡南がディフェンスラインでボールを繋いでいたところをコンサドーレ札幌19番が高い位置からのプレスでボールを奪い先制点を挙げる。前半5分には、コンサドーレ札幌のコーナーキックをゴールキーパーがはじいたところをコンサドーレ札幌15番が落ちていてゴールに流し込み2点目を奪う。

飲水タイム明けの前半 12 分、B T O P 平岡南がカウンターから 9 番がディフェンスをかわしゴールキーパーと 1 対 1 になったところを冷静に得点し反撃ののろしを上げる。

しかし前半 13 分、コンサドーレ札幌 13 番がゴール前でディフェンダーをかわし中央 17 番へパス、それを右足で流し込み 3 対 1 とする。さらに 16 分、コンサドーレ札幌 13 番のサイドからのパスを受けた 11 番が決める。18 分、相手ディフェンスのクリアミスコンサドーレ札幌 22 番が左足を鋭く振り抜き、追加点を奪う。

後半 4 分、コンサドーレ札幌が右サイドからのクロスをもとめ、17 番が落ち着いて決め、更に点差を広げる。さらに後半 6 分には再び右サイドからのクロスをもとめ、コンサドーレ札幌 17 番がゴールを決める。その後さらにコンサドーレが追加点を奪い、8 対 1 で試合終了のホイッスルを聴くこととなる。

北海道コンサドーレ札幌 U12 が札幌代表として全道大会進出を決めた。



全道大会の結果は道協会の HP をご覧ください。